

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

| 団体名 | 平成23年度の取組実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|------------------|---|---|-------------------------------|-----------------------|--|--|--|-------------------------------|-----------------------|--------------------------|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| SIDS家族の会 | リーフレット「小さな灯を守って」 | 母子の健康のため、喫煙を控える・母乳で育てる・うつぶせ寝を避けるという情報を伝える。 | 妊婦 | 300 | 随時 | リーフレット「小さな灯を守って」 | 母子の健康のため、喫煙を控える・母乳で育てる・うつぶせ寝を避けるという情報を伝える。 | 妊婦 | 2000 | 随時 |
| | 母子保健・福祉従事者対象研修会「発達障害時の早期発見と支援」「子どもの心の診療医研修」「周産期医療研修会」等 | 母子保健・福祉従事者の資質向上 | 保健師・助産師・看護師、医師、保育士、検査技術者等 | 1,340 | 18 | 母子保健・福祉従事者対象研修会「医療・保健従事者の児童虐待予防と対応」「子どもの心の診療医研修会」「周産期医療研修会」等 | 母子保健・福祉従事者の資質向上 | 保健師・助産師・看護師、医師、保育士、検査技術者等 | 1,600 | 19 |
| 恩賜財団母子愛育会 | 愛育班組織強化事業(母子保健地区組織育成者研修会) | 母子保健地区組織育成者の資質向上 | 保健師 | 45 | 1 | 愛育班組織強化事業(母子保健地区組織育成者研修会)等 | 母子保健地区組織担当者の資質向上 | 保健師・助産師・看護師、医師、保育士、検査技術者等 | 40 | 1 |
| | 愛育病院における出産準備、育児支援のための各種講座、出産前小児保健指導事業、NICU退院児の発育発達フォロー他 | 出産準備、育児支援、発達支援、産前産後の健康管理 | 妊産婦、乳幼児とその家族 | 6,000 | | 愛育病院における出産準備、育児支援のための各種講座、出産前小児保健指導事業、NICU退院児の発育発達フォロー他 | 出産準備、育児支援、発達支援、産前産後の健康管理 | 妊産婦、乳幼児とその家族 | | |
| | 愛育病院における各種取組 | | | | | 愛育病院における各種取組 | | | | |
| | 日本子ども家庭総合研究所における研究 | 子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行い、その成果を研究紀要にて発表する。(家庭的保育のあり方に関する研究、児童相談所等における保護者援助のあり方に関する実証的研究 他) | 政府機関、地方自治体、児童相談所、保健所、研究・教育機関他 | | | 日本子ども家庭総合研究所における研究 | 子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行い、その成果を研究紀要にて発表する。(保育形態の多様性と質に関する研究、児童相談所等における保護者援助のあり方に関する実証的研究 他) | 政府機関、地方自治体、児童相談所、保健所、研究・教育機関他 | | |
| | 子ども家庭福祉、母子保健に関する情報提供 | ウェブサイト「愛育ねっと」「母子保健情報」の発行(年2回)「日本子ども資料年鑑」の編集 | 子ども家庭福祉、母子保健関係の機関、研究者等 | | | 子ども家庭福祉、母子保健に関する情報提供 | ウェブサイト「愛育ねっと」「母子保健情報」の発行「日本子ども資料年鑑」の編集 | 子ども家庭福祉、母子保健関係の機関、研究者等 | | |
| | ナーサリールームにおける地域の子育て支援 | 一時保育、子育て相談、絵本の貸し出し、講座(子育て応援団)等 | 在園児の保護者、子育て中の地域住民 | 267 | | ナーサリールームにおける地域の子育て支援 | 体験保育、子育て相談、絵本の貸し出し、プール開放、講座(子育て応援団)等 | 在園児の保護者、子育て中の地域住民 | | |
| 日本子ども健康科学会 | | | | | 第14回日本子ども健康科学会学術大会 テーマ:子どもたちにもっと快を! | 家庭、学校、医療、地域社会において、子どもたちに関わる大人が、子どもたちの困難に気づき、適切に対応するために役立つ、知識、情報、理論、技法を学べる機会となるようなプログラムを企画いたしました。 | 教育・医療・福祉関係者 | 200 | 1 | |
| 難病のこども支援全国ネットワーク | ネットワーク電話相談室 | 病気や障害のある子どもと家族から医療・教育・福祉に関する相談を受ける | 家族 | 難病や障害のある子どもは全国で20万人以上 | 毎週月曜～金曜 11:00-15:00 | ネットワーク電話相談室 | 病気や障害のある子どもと家族から医療・教育・福祉に関する相談を受ける | 家族 | 難病や障害のある子どもは全国で20万人以上 | 毎週月曜～金曜 11:00-15:00 |
| | 遺伝(先天異常)特別相談 | 先天異常のある子どもを持つ家族から遺伝に関する相談を受ける | 家族 | 難病や障害のある子どもは全国で20万人以上 | 毎月第4金曜日 14:00-17:00 | 遺伝(先天異常)特別相談 | 先天異常のある子どもを持つ家族から遺伝に関する相談を受ける | 家族 | 難病や障害のある子どもは全国で20万人以上 | 毎月第4金曜日 14:00-17:00 |
| | 遺伝カウンセリング | 遺伝性疾患や染色体異常に関する相談を受ける | 家族 | 難病や障害のある子どもは全国で20万人以上 | 毎月第2・4金曜日 14:00-17:00 | 遺伝カウンセリング | 遺伝性疾患や染色体異常に関する相談を受ける | 家族 | 難病や障害のある子どもは全国で20万人以上 | 毎月第1・3水曜日 11:00-15:00 |

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

| 団体名 | 平成23年度の実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|----------|---------------------------------------|---|--------------------------------|-------|----------------|------------------------------|---|--|-----------------------------|-------|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| 日本医師会 | 子ども予防接種週間を実施平成24年3月1日～3月7日 ポスターを作成・配布 | 予防接種率の向上 | 日本医師会会員、実施医療機関他 | 約19万部 | | 母子保健講習会を開催 | | 医師 | 400 | 1 |
| | | | | | | 子ども支援日本医師会宣言 | 母と子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進 | | | |
| 日本看護協会 | 小児救急看護の認定看護師の育成 | 小児救急看護の認定看護師の育成 | 実務経験5年以上(内、小児救急看護の分野で3年以上)の看護師 | 30 | 1年間 | 研修「小児のエンドオブライフを考える」 | 小児のエンドオブライフを考えるために、小児緩和医療をめぐる課題やケアの実際、小児ホスピス、在宅医療の現状等について学ぶ。 | 保健師、助産師、看護師 | 60 | 2日間 |
| | 子どもの看護と家族へのケア～小児救急から子育て支援まで～ | 子どもに対し適切な医療・看護を行うために、小児救急看護の基礎知識から子育て、愛着形成支援までを体系的にとらえ、子どもとその家族へのケアを学ぶ | 保健師、助産師、看護師、准看護師 | 120 | 3日 | 研修「小児在宅療養支援に必要な医療的ケアの知識と技術」 | 小児在宅療養支援に必要な医療的ケアの知識と技術を深めるために、小児在宅療養の現状と課題、小児のフィジカルアセスメント、種々の医療的ケア、成長に合わせた工夫等について学ぶ。 | 保健師、助産師、看護師 | 60 | 2日間 |
| | 保健師活動強化コンサルテーション事業 | 次期統括者の役割を担える中堅期保健師の育成。テーマは母子保健。コンサルタントから指導助言を受けながら、事業の実践計画(試案)を修正し、実践の見直しを立てていく。 | 保健師 | 35 | 7 | 小児救急看護の認定看護師の育成 | 小児救急看護の認定看護師の育成 | 実務経験5年以上(内、小児救急看護の分野で3年以上)の看護師 | 30 | 1年間 |
| | 保健指導ミーティング | 保健師の保健指導のスキルアップを目的とした実践事例検討会。テーマは母子保健、児童虐待など | 保健師 | 300 | 各1～2 | 子どもの看護と家族へのケア～小児救急から子育て支援まで～ | 子どもに対し適切な医療・看護を行うために、小児救急看護の基礎知識から子育て、愛着形成支援までを体系的にとらえ、子どもとその家族へのケアを学ぶ。 | 保健師、助産師、看護師 | 120 | 3日間 |
| | 学術集会 日本看護学会 母性看護・小児看護 | つなげよう命、つなげよう看護 | 保健師、助産師、看護師、准看護師 | 2,000 | 2日間 | 保健師活動強化コンサルテーション事業 | 次期統括者の役割を担える中堅期保健師の育成を実施。コンサルタントから指導助言を受けながら、事業の実践計画(試案)を修正し、実践の見直しを立てていき1年間をとおして実施している。直接指導は約10回実施している。 | 保健師 | 約100名(延べ人数) | 1年間 |
| | 各都道府県看護協会との連携 | ポスターやリーフレット等の配布、情報提供 | 保健師、看護師、助産師、准看護師 | | | 保健指導ミーティング | 保健師の保健指導のスキルアップを目的とした実践事例検討会。テーマは母子保健、児童虐待などで、保健師が50～100名/回一堂に会して実施している。これらの会を全国約20箇所で開催している。 | 保健師、看護師 | 50～100名(全国の参加者見込総数は1500人程度) | 1年間 |
| | | | | | | 学術集会 日本看護学会 母性看護・小児看護 | つなげよう命、つなげよう看護。 | 保健師、助産師、看護師、准看護師 | 1,200 | 2日間 |
| | | | | | | 各都道府県看護協会との連携 | ポスターやリーフレット等の配布、情報提供。 | 保健師、助産師、看護師、准看護師 | 47都道府県 | |
| 日本公衆衛生学会 | | | | | 第71回日本公衆衛生学会総会 | シンポジウム 乳幼児のアレルギー疾患への社会的対応 | 学会総会参加者 | 100 | 1 | |
| 日本歯科医師会 | 第60回母と子のよい歯のコンクール | 厚生労働省と日本歯科医師会の主催により3歳児歯科健康診査受診者及びその子供の母親もよい歯を保持している母子を選出し、優秀者の表彰を行い、歯の健康保持に関する知識の普及啓発を図る。優秀母子の表彰については、11月19日(土)に長良川国際会議場(岐阜県岐阜市)において開催された第31回全国歯科保健大会の式典で行った。 | 平成22年度に行われた全国の3歳児健康診査の受診者とその親 | 約98万人 | 1回開催 | 第61回母と子のよい歯のコンクール | 厚生労働省と日本歯科医師会の主催により3歳児歯科健康診査受診者及びその子供の母親もよい歯を保持している母子を選出し、優秀者の表彰を行い、歯の健康保持に関する知識の普及啓発を図る。優秀母子の表彰については、10月27日(土)にリンクステーションホール青森(青森県青森市)において開催される第33回全国歯科保健大会の式典で行う予定である。 | 平成23年度に行われた全国の3歳児健康診査の受診者のうち、地方審査を経て各都道府県より推薦のあった母子のなかから優秀母子を選出。 | 約98万人(前年度実績) | 1回 |

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

| 団体名 | 平成23年度の取組実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|-------------|--|---|--|---------------|------------|--------------------------------------|---|--|------------------------------|---|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| 日本歯科医師会 | 歯の衛生週間 | 歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康保持増進に寄与することを目的とする。 標語「みがこうよ 未来へつなげる じょうぶな歯」 重点目標「住民主体による8020運動の新たな展開～生きる力を支える歯・口のケアの推進～」 | 実施要領及びポスターの配布 中央及び地方の主催団体(中央主催団体:厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会)から実施要領を配布し周知徹底と普及啓発に努めるとともに、日本歯磨工業会の協力により作成したポスター23万枚を都道府県歯科医師会、都道府県教育委員会、都道府県農業協同組合中央会等関係機関・団体等に配布した。 | ポスター配布枚数:27万枚 | 6月4日～6月10日 | 歯の衛生週間 | 歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康保持増進に寄与することを目的とする。 標語「歯みがきは じょうぶなからだの 第一歩」 重点目標 生きる力を支える歯科口腔保健の推進 ～生涯を通じた8020運動の新たな展開～ | 実施要領及びポスターの配布 中央及び地方の主催団体(中央主催団体:厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会)から実施要領を配布し周知徹底と普及啓発に努めるとともに、日本歯磨工業会の協力によりポスターを作成し、都道府県歯科医師会、都道府県教育委員会、都道府県農業協同組合中央会等関係機関・団体等に配布。 | ポスター配布予定枚数:27万枚 | |
| | 日本歯科医師会・日本栄養士会第2回共催事業「食べることは生きること」～「健やかな食と食べる機能」を支えるためのシンポジウム～ | 平成23年3月11日発生した東日本大震災では、岩手県、宮城県、福島県を中心に多くの方が被災され、未だ避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされています。このような生活環境において、災害時において生きていく上で基本となる「食」「食べる」ことの専門職である管理栄養士、栄養士、歯科医師、歯科衛生士が、どのように被災者を支えていくべきであるのか。共通認識を深めていくことを目的としている。 | 管理栄養士、栄養士、歯科医師(日歯会員もしくは行政に勤務する歯科医師)、歯科衛生士 | 220 | 1回開催 | 日本栄養士会との共同事業 | シンポジウムを開催予定 | | | 1回開催 |
| 日本児童青年精神医学会 | 第52回日本児童青年精神医学会総会(平成23年11月10日～12日) | 乳幼児から青年期までの心の健康に関する学術発表、教育講演、特別講演、シンポジウム、一般演題の発表等 | 対象は学会員および開催地の関連分野の専門家 | 3,500余名の会員 | 1 | 第53回日本児童青年精神医学会総会(平成24年10月30日～11月1日) | 乳幼児から青年期までの心の健康に関する学術発表、教育講演、特別講演、シンポジウム、一般演題の発表等 | 対象は学会員および開催地の関連分野の専門家 | 3,500 | 1 |
| 日本小児科医会 | 「子どもの心」相談医の研修会 | 子どもの心の問題に対応できる小児科医の育成のための研修会 | 医師 | 253名 315名 | 2 | 子どもの心の相談医の養成事業 | 1.子どもの心の相談医養成と質の向上 2.少人数でのカウンセリング実習 3.思春期の臨床講習会 | 日本小児科医会認定「子どもの心相談医」 | 1.年間約600名の研修 2.未定 3.未定 | 1.前期 5/12～13 後期 7/28～29 2.年間6箇所 3.東京 11/23 |
| | インフルエンザ菌・肺炎球菌全身感染症調査 | インフルエンザ菌b型の感染症及び肺炎球菌感染症の実態調査 | 病院小児科 | 150病院 | 1 | 子ども予防接種週間 | 日本医師会と協働して予防接種率向上を目指す啓発活動を行う | 全国の対象約15,000名 | | |
| | 予防接種広域化調査 | 市町村ないし県単位での予防接種相互乗り入れ体制の整備状況調査 | 都道府県小児科医会 | 47都道府県 | 1 | インフルエンザ菌・肺炎球菌全身感染症調査 | ヒブワクチンと肺炎球菌の全身感染症患者の事例報告 | 全国のヒブ脳炎・脳症患者の実数調査 | | |
| | | | | | | 予防接種広域化調査 | 全国47都道府県への聞き取り調査 | 47都道府県(完全実施県は28都道府県) | | |
| | | | | | | #8000小児救急電話相談事業の充実とセンターの設置 | 1.全国47都道府県全県実施 2.センター施設の設置 | 47都道府県 | | |
| | | | | | 「小児保健法」の制定 | 「老人保健法」と対比する理念法として立法化 | 国会 | | | |

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

| 団体名 | 平成23年度の実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|----------|--|---|----------------------------------|-------|-----|--|---|---|--------|-------|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| 日本小児看護学会 | 日本小児看護学会 2011年度地方会(中国地区) 「病気や障害をもつ子どもと家族の成長を支える看護－医療的ケアが必要な子どもと家族を支える他職種との連携と協働－」 | 【内容】 ①基調講演「病気や障害をもつ子どもと家族の成長を支える看護師の役割」 ②シンポジウム「医療的ケアがある子どもと家族の成長を継続して支えるには－他職種と連携協働したアプローチを考える－」 シンポジスト5名 | 看護師、関連専門職、看護学生等 | 98 | 1 | 医療的ケアを必要とする子どもへの支援における特別支援学校等での看護師のあり方についての提言 | 【目的】平成24年4月の一定の条件の下に介護職員等による医療的ケアの実施ができる制度の開始に伴い、医療的ケアを必要とする子どもの安全・安心が守られ、より良い教育が保障されることを目指す。 | 教育関係者、看護師等 | 119 | 2 |
| | 日本小児看護学会第21回学術集会 【テーマ】「子どもたちの未来は私たちの未来－保健・医療・福祉・教育の絆－」 | 【目的】子どもたちがどのような環境にあってもその子らしく、少しでも生き生きと成長するために、小児看護に携わるものとして、どのように保健・医療・福祉・教育の絆を深め、連携することができるのかを検討する。 【内容】 ①会長講演:「小児専門病院管理者の視点から保健・医療・福祉・教育の絆を再考する」 ②特別公演:「そだちの凸凹(発達障がい)とそだちの不全(子ども虐待)」 ③教育講演:「モンスターペアレント論を超えて－保護者の思いと背景を読み取る」 ④シンポジウム:「保健・医療・福祉・教育－地域との連携の未来像を描く」 ⑤緊急フォーラム:東日本大震災－子どもたちの現状と私たちができること－、他 | 看護師、関連専門職、患者会関係者、一般市民(一部)等 | 1,408 | 1 | 日本小児看護学会第22回学術集会 【メインテーマ】「どこにいても子どもと家族に確かなケアを」 | 【目的】小児医療を担う医師や看護職などの不足や偏在、地域間格差、医療職の就業環境、小児救急医療などの小児医療提供体制の中で、子どもや家族がその時々状況や生活のニーズに即した根拠ある「確かなケア」を目指し、お互いの知見・技術を共有し、看護職ならではのケア提供システムの構築と連携について検討する。 【内容】 ①会長講演 「子どもと家族にとっての「確かなケア」とは」 ②特別公演 「想定外を生き抜く力～大津波から生き抜いた釜石市の児童・生徒の主体的行動に学ぶ～」 ③教育講演 「10代の子どものこころ～思春期外来から見えるもの～」 ④シンポジウム 「子どもと家族への「確かなケア」を考えよう」 、他 | 看護師、関連専門職、患者会関係者等 | 1,000 | 1 |
| | ポスター「子どもの人権は守られていますか？」 | 病院における子どもの権利擁護への啓発を目的にポスターを作成し、配布した。 | 看護師、医療関係者、一般市民(小児科外来を受診する子どもの親等) | 4,000 | 1 | 第9回医療的ケア研修セミナー | 【目的】家庭・学校・通園通所施設などにおいて、在宅地域生活支援のために「医療的ケア」が広がりをもちながら適切に行われるように、専門職が知っておくべき方法・技術、リスク及び制度論などの諸問題について研修し、支援者が知識を共有できることを目的とする。 | 重症神経疾患児・重症心身障害児(者)等の医療・療育・学校教育・通園通所・訪問看護などに携わる、医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・教員等 | 250 | 1 |
| | 「子どもの事故防止ノート」 | 家庭における子どもの事故予防のための啓発活動として、窒息、溺水、転落、誤飲・誤嚥、熱傷、外傷の6項目についてA4用紙2枚ずつにまとめ、本学会のホームページに掲載した。 | 子育て中の親、看護師 | 1 | 1 | 日本小児看護学会 2012年度地方会(北陸地区) 「現場のニーズや小児看護スペシャリストの活動から考える看護の役割～これから私たちができること～」 | 【目的】子育て不安や虐待、不登校、いじめ、発達障害の子どもへの新たな支援の必要性、あるいは保健福祉医療体制の地盤の弱さが関係している複雑で解決困難な問題への解決につなげていくための看護の役割や保健医療福祉のあり方について考え、共有することを目的とする。 【内容】現場で活躍されているスペシャリスト4名によるシンポジウム | 看護師、関連専門職、看護学生等 | 100 | 1 |

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
 ー小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備ー

| 団体名 | 平成23年度の取組実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|---------------------|---------------------------------|--|--|------------------------|-----|--------------------------|---|---|------------------------|-------|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| 日本小児看護学会 | 第8回医療的ケア研修セミナー | 【目的】 家庭・学校・通園通所施設などにおいて、重症児(者)の在宅地域生活支援のために「医療的ケア」が広がりを持ちながらも適切に行われるように、専門職が知っておくべき方法・技術、諸問題及びリスクについて具体的に研修する。今回のセミナーでは、特に「リスク管理」に重点をおき、各手技の基本的事項を整理し、支援者が知識を共有できることを目的とする。 | 重症神経疾患児・重症心身障害児(者)等の医療・療育・学校教育・通園通所・訪問看護などに携わる、医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・教員など | 203 | 1 | | | | | |
| 日本小児救急医学会 | 日本小児救急医学会総会 | 小児救急医療に関する最新治療法の探求、総合的対応の研究、多職種によるチーム医療の充実等 | 小児科医、小児外科医、小児集中治療医、小児麻酔科医など | 約1,200人 | 1 | 日本小児救急医学会総会 | 小児救急医療に関する最新治療法の探求、総合的対応の研究、多職種によるチーム医療の充実等 | 小児科医、小児外科医、小児集中治療医、小児麻酔科医など | 約1,200人 | 1 |
| | 小児救急医療ワークショップ in 北九州 | 小児救急医療を深め、多くの医療者に小児救急への取り組みを促す | 小児科医・内科医・研修医、看護師など | 150人 | 1 | 小児救急医療ワークショップ in 北九州 | 小児救急医療を深め、多くの医療者に小児救急への取り組みを促す | 小児科医・内科医・研修医、看護師など | 150人 | 1 |
| | 小児救急医学会教育研修セミナー | 若手医師・看護師向けの実践的な小児救急医療スキルの参加型学習 | 小児救急に従事する若手医師、看護師 | 80人 | 1 | 小児救急医学会教育研修セミナー | 若手医師・看護師向けの実践的な小児救急医療スキルの参加型学習 | 小児救急に従事する若手、医師、看護師 | 80人 | 1 |
| | 小児救急医学会脳死判定セミナー | 法的脳死下臓器移植における手順の普及 | 小児科医・内科医・研修医、看護師など | 80人 | 1 | 小児救急医学会脳死判定セミナー | 法的脳死下臓器移植における手順の普及 | 小児科医・内科医・研修医、看護師など | 80人 | 1 |
| 日本小児保健協会 | 「緊急フォーラム ーこの大災害に小児科医はどう立ち向かうかー」 | | | | 1 | 第59回日本小児保健協会学術集会 | 「愛しい子どもたち～今、私たちにできること」 | 医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、保育士、教諭、養護教諭、ジャーナリスト、母子保健研究者、その他研究者、母子保健関係者等 | | 1 |
| | 第1回震災対応合同委員会 | | | | | 第29回小児保健セミナー | 「医療的ケアの必要な子どもへの支援」 | 保健師、看護師、医師、保育士、教師、栄養士など小児保健関係の会員 | 参加者101名 | 1 |
| | 第2回震災対応合同委員会 | | | | | 機関紙「小児保健研究」発行 | 71巻3号～72巻2号 | 会員 | 約5,000人 | 1 |
| | 小児救急電話相談スキルアップ研修会 基礎コース | 小児救急の電話相談の役割の理解と相談技術の向上を目的とした講習会(基礎編) | 医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、保育士、教諭、養護教諭、ジャーナリスト、母子保健研究者、その他研究者、母子保健関係者等 | 参加者97名 | 1 | 小児救急電話相談スキルアップ研修会(基礎コース) | 小児救急電話相談の役割の理解と相談技術の向上を目的に開催 | 医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、保育士、教諭、養護教諭、ジャーナリスト、母子保健研究者、その他研究者、母子保健関係者等 | 100名 | 1 |
| | 小児救急電話相談スキルアップ研修会 実践コース | 小児救急の電話相談の役割の理解と相談技術の向上を目的とした講習会(実践編) | 医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、保育士、教諭、養護教諭、ジャーナリスト、母子保健研究者、その他研究者、母子保健関係者等 | 参加者28名 | 1 | 小児救急電話相談スキルアップ研修会(実践コース) | 小児救急電話相談の役割の理解と相談技術の向上を目的に開催 | 医師、歯科医師、保健師、助産師、看護師、保育士、教諭、養護教諭、ジャーナリスト、母子保健研究者、その他研究者、母子保健関係者等 | 30名 | 1 |
| | 日本赤十字社 | 医療事業(小児救急医療拠点病院) | 2次医療圏域で小児救急医療体制を確保するため | 2次医療圏で小児救急医療を必要としている方々 | | 通年 | 医療事業(小児救急医療拠点病院) | 2次医療圏域で小児救急医療体制を確保するため | 2次医療圏で小児救急医療を必要としている方々 | |
| 医療事業(総合周産期母子医療センター) | | 周産期医療の充実のため | 患者及びその家族 | | 通年 | 医療事業(総合周産期母子医療センター) | 周産期医療の充実のため | 患者及びその家族 | | 通年 |
| 医療事業(地域周産期母子医療センター) | | 周産期医療の充実のため | 患者及びその家族 | | 通年 | 医療事業(地域周産期母子医療センター) | 周産期医療の充実のため | 患者及びその家族 | | 通年 |
| 医療事業(NICU病床の設置) | | 新生児集中治療室充実のため | 患者及びその家族 | | 通年 | 医療事業(NICU病床の設置) | 新生児集中治療室充実のため | 患者及びその家族 | | 通年 |

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

| 団体名 | 平成23年度の取組実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|------------------------|----------------------|---|---------------------------------|-----------|-------------|------------------------|---|---------------------------------|-----------|-----------------------------|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| 日本赤十字社 | 医療事業 (乳幼児健康相談の実施) | 乳幼児の健康管理体制の醸成のため | 患者及びその家族 | | 通年 | 医療事業 (乳幼児健康相談の実施) | 乳幼児の健康管理体制の醸成のため | 患者及びその家族 | | 通年 |
| | 医療事業 (小児健康相談の実施) | 小児の健康管理体制の醸成のため | 患者及びその家族 | | 通年 | 医療事業 (小児健康相談の実施) | 小児の健康管理体制の醸成のため | 患者及びその家族 | | 通年 |
| | 医療事業 (妊産婦健康相談の実施) | 妊産婦の健康管理体制の醸成のため | 患者及びその家族 | | 通年 | 医療事業 (妊産婦健康相談の実施) | 妊産婦の健康管理体制の醸成のため | 患者及びその家族 | | 通年 |
| | 医療事業 (育児相談の実施) | 育児全般における相談・啓蒙の場を提供するため | 患者及びその家族 | | 通年 | 医療事業 (育児相談の実施) | 育児全般における相談・啓蒙の場を提供するため | 患者及びその家族 | | 通年 |
| | 医療事業 (両親学級の開催) | 妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため | 患者及びその家族 | | 通年 | 医療事業 (両親学級の開催) | 妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため | 患者及びその家族 | | 通年 |
| | 赤十字幼児安全法講習会 | こどもに起こりやすい事故防止と事故に対する手当の方法、家庭内での看病の方法等、日常生活の中で役立つ知識や技術を習得できる講習会を開催した。 | 全国の一般市民(父母、祖父母、保育士、学生等) | 57,131人 | 2,445回 | 赤十字幼児安全法講習会 | こどもに起こりやすい事故防止と事故に対する手当の方法、家庭内での看病の方法等、日常生活の中で役立つ知識や技術を習得できる講習会を開催する。 | 全国の一般市民(父母、祖父母、保育士、学生等) | 60,000人 | 2,500回 |
| | 乳幼児の一次救命処置講習 | 小児の中でも心肺停止を起こしやすい乳幼児に最適化した一次救命処置(心肺蘇生・AEDを用いた除細動等)を実際に入形を用い教えた。 | 保護者、保育士、幼稚園・学校教諭 | 9,479人 | | 乳幼児の一次救命処置講習 | 小児の中でも心肺停止を起こしやすい乳幼児に最適化した一次救命処置(心肺蘇生・AEDを用いた除細動等)を実際に入形を用い教える。 | 保護者、保育士、幼稚園・学校教諭 | 8,500人 | |
| | 「子どもの命を地域で守るワークショップ」 | コープ共済連とのタイアップ事業として、①「こどもの救急時の対応～心肺停止・AEDを用いた除細動～」②「子どもに多い病気(症状)の手当」③放射線の正しい知識と予防対策について実施した。 | 0～6歳までの子どもがいる家族(母・父・祖母・祖父)妊娠中の方 | 31人 | モデル事業 2回 | 「子どもの命を地域で守るワークショップ」 | コープ共済連とのタイアップ事業として、①「こどもの救急時の対応～心肺停止・AEDを用いた除細動～」②「子どもに多い病気(症状)の手当」③放射線の正しい知識と予防対策について実施する。 | 0～6歳までの子どもがいる家族(母・父・祖母・祖父)妊娠中の方 | 3,000人 | 日本赤十字社47都道府県支部が2テーマ開催: 94予定 |
| | 赤十字幼児安全法指導員養成講習会 | 赤十字幼児安全法の指導員を養成するための講習会を開催した。 | 市民、職員 | 96人 | 8回 | 赤十字幼児安全法指導員養成講習会 | 赤十字幼児安全法の指導員を養成するための講習会を開催する。 | 市民、職員 | 280人 | 14回 |
| | 母子衛生研究会 | 母子健康手帳副読本「赤ちゃん＆子育てインフォ」 | 妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発 | 妊娠届出の妊婦 | 1,500,000 | 1 | 母子健康手帳副読本「赤ちゃん＆子育てインフォ」 | 妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発 | 妊娠届出の妊婦 | 1,500,000 |
| わが家の安心ガイドブック | | 乳幼児の事故予防、応急手当の方法についての正しい知識の普及啓発 | 1歳6か月児健診時等の保護者 | 970,000 | 1 | わが家の安心ガイドブック | 乳幼児の事故予防、応急手当の方法についての正しい知識の普及啓発 | 1歳6か月児健診時等の保護者 | 969,700 | 1 |
| 小児科受診ノート | | 小児保健教育の普及啓発 | 小児科受診、乳幼児健診等の保護者 | 660,000 | 1 | 女性のための健康ガイド | 女性の生涯にわたる健康づくりの普及啓発 | 婦人科健診、保健相談、外来受診の一般女性 | 859,900 | 1 |
| 親子ではじめる歯の健康miniブック | | 妊娠期、子どもの口腔ケアの普及啓発 | 妊娠届出の妊婦 | 980,000 | 1 | 小児科受診ノート | 小児保健教育の普及啓発 | 小児科受診、乳幼児健診等の保護者 | 659,900 | 1 |
| 子どもの予防接種スケジュール帳 | | 乳幼児の感染症と予防接種の普及啓発 | 妊娠届出の妊婦 | 907,000 | 1 | 親子ではじめる歯の健康miniブック | 妊娠期、子どもの口腔ケアの普及啓発 | 妊娠届出の妊婦 | 980,000 | 1 |
| 子どもの予防接種 ロタウイルスが加わりました | | 乳幼児の感染症と予防接種の普及啓発 | 妊娠届出の妊婦 | 800,000 | 1 | 子どもの予防接種スケジュール帳 | 乳幼児の感染症と予防接種の普及啓発 | 妊娠届出の妊婦 | 907,000 | 1 |
| インターネット「赤ちゃん＆子育てインフォ」 | | 妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供 | 妊産婦および育児期の保護者等 | 4,088,000 | 随時 | 子どもの予防接種 ロタウイルスが加わりました | 乳幼児の感染症と予防接種の普及啓発 | 妊娠届出の妊婦 | 800,000 | 1 |
| セミナー「子どもの感染症と予防接種の理解」 | | 子どもの感染症と予防接種の普及啓発及び最新情報の提供 | 保健師、助産師、保育士等母子保健関係者 | 1,100 | 6 | インターネット「赤ちゃん＆子育てインフォ」 | 妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供 | 妊産婦および育児期の保護者等 | 4,088,000 | 随時 |
| | | | | | | セミナー「子どもの感染症と予防接種の理解」 | 子どもの感染症と予防接種の普及啓発及び最新情報の提供 | 保健師、助産師、保育士等母子保健関係者 | 900 | 9 |

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

| 団体名 | 平成23年度の取組実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|----------|------------------------------------|--|------------------------------|--------------------------------|-----|------------------------|--|--|----------|---------|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| 母子保健推進会議 | 平成23年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会) | 目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及啓発、ならびに地域母子保健事業の推進を図るための同大会に後援/内容:功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演「親だからできること」講師 尾木直樹(教育評論家)、音語り/あらしのよるに 親子遊び、シンポジウム:テーマ『安全で安心な妊娠、出産、子育てを目指して』等 | 保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等 | 800名 | 1回 | 平成24年度「健やか親子21全国大会」 | 目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る。内容:功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演、シンポジウム、活動展示等 | 保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等 | 1,500名 | 1回 |
| | 全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会 | 目的:母子保健推進員等地域組織活動を周知することにより、理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる/内容:厚生労働省による最近の母子保健の動向、震災から学ぶ母子保健の危機管理、母推活動への期待、市町村で行われている母子保健推進員活動の報告等 | 行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等 | 180名 | 1回 | 母子保健推進員等および母子保健関係者全国集会 | 目的:母子保健推進員等の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員等の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげる/内容:全国の母子保健推進員の活動報告、活動展示 | 厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等 | 400名 | 1回 |
| | 母子保健推進員研修会 | 目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員等の資質の向上を図る/内容:虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、食育の推進、乳幼児の事故と予防対策、母子保健推進員の活動・役割・期待、地域での子育て支援をテーマに講演、活動報告等 | 母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等 | 3,770名 | 9回 | 母子保健推進員研修会 | 目的:すこやか親子21国民運動の一層の推進を目指す、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員等の資質の向上を図る/内容:虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告 | 保健師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等 | 4,500名 | 14回 |
| | 健やか親子21国民運動—8020の里賞 | 目的:域組織の育成、乳幼児期からの口腔から全身の健康の啓発/内容:地域で劇、ペープサート、手作り教材制作など活発な啓発活動を実践している組織を表彰、活動内容を全国自治体宛紹介 | 地域で母子保健活動を行っている組織 | 30媒体、23団体の応募 | 1回 | 母子保健教材の制作・無償配布 | 目的:母子保健活動を円滑に行うために教材の制作・配布は有効である/内容:妊娠期、子育て期用リーフレットの制作・配布 | 保健師、助産師、歯科衛生士、保育士、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等 | 500,000部 | 随時制作・配布 |
| | 幼児用歯ブラシセット | 目的:乳幼児期の歯科保健知識と意識の普及、歯科保健指導と母親自身の口腔啓発/内容:歯科健康診査実施前後配布用教材、各年・月齢の特徴、留意点、歯みがきのポイント | 1歳6か月児・3歳児とその保護者 | 1歳6か月用 200,000・3歳児用 150,000セット | 2回 | 歯科保健指導者研修会 | 目的:8020と健やか親子21は住民が主体性を持ち進めるが、それを支える専門職、関係者に対して最新の情報を伝える必要がある/内容:歯科保健からの食育の推進など | 保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等 | 400名 | 2回 |
| | リーフレット「おかあさんといっしょに よく噛み育てる ころとからだ」 | 目的:乳幼児期からのむし歯予防の大切さと留意点を広く知らしめる/内容:妊婦と乳幼児への口腔ケア、妊婦の歯周病と早産の関係、など | 市町村保健センター、本会議主催大会、研修会参加者等 | 500,000部 | 2回 | 母子歯科保健研修会 | 目的:母子保健推進員等歯科保健専門職でない方々を対象に歯科保健知識の普及を図る/内容:妊婦と乳幼児への口腔ケア、乳幼児の発達と歯科保健など | 母子保健推進員等、保健師、自治体母子保健担当者 | 4,500名程度 | 12回 |

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

| 団体名 | 平成23年度の取組実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|----------|---|---|------------------------------|--------------------------------|---------------------------|--|---|------------------------------------|--------------------------------|-------|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| 母子保健推進会議 | 歯科保健技術者研修会 | 目的:8020と健やか親子21は住民が主体性を持ち進めるが、それを支える専門職、関係者に対して最新の情報を伝える。 内容:子どもの口腔機能向上について、障害時の歯科治療について、子育て支援、8020の里づくり、食育の取組み等テーマに講演、研修会 | 保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等 | 400名 | 2回 | 母子保健・健全育成住民会議 | 目的:子育てをサポートする方々(母子保健推進員・保育士・保健師等)と子育て中の方々が一堂に会し、情報の共有と連携を図る/内容:シンポジウム、講演、グループワークなど | 母親・父親の代表、子育てサポーター、母子保健推進員等 | 400名 | 1回 |
| | 母子歯科保健研修会 | 目的:母子保健推進員、自治体母子保健担当者、学校関係者等を対象に子育て支援等をテーマに併せ、歯科保健知識の普及を図る/内容:妊婦と乳幼児への口腔ケア、妊婦の歯周病と早産、虐待との関係等 | 母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者 | 4,120名 | 10回 | 幼児用歯ブラシセット | 目的:乳幼児期からの正しい歯の磨き方の普及啓発/内容:1歳6か月・3歳児用歯ブラシとリーフレットのセットを県・保健所を通して配布 | 市町村(健診時等に対象者へ) | 350,000セット | 2回 |
| | 母子保健・健全育成住民会議 | 目的:住民が主体的に参加することにより、その地域における子育ての問題を洗い出し、情報の共有と連携を図る。/内容:地域における子育て支援、地域に根付いた子育ての実践、学校保健との連携、父親の子育て、より良い親子関係のための実践、テーマに講演、実践発表 | 母親・父親の代表、母子保健推進員、保育士等 | 350名 | 1回 | リーフレット「おかあさんといっしょにーよく噛み育てる ところとからだー」、パンフレット「楽しく食べて元気な子ー歯科からの食育メッセージ」 | 目的:母と子の歯科保健知識普及運動推進/内容:1歳6か月・3歳児健診、2歳児歯科健診時配布用教材、各年齢・月齢の特徴、留意点、歯みがきのポイント、離乳食、食育の進め方についてなど | 市区町村母子保健担当者、乳幼児を持つ親 | 50,000部制作・配布 | 随時 |
| | 地域母子保健福祉情報紙ー母推さんーの発行 | 目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る/内容:厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実態の紹介、本会議主催研修会の報告など | 都道府県・保健所・市町村母子保健担当者・母子保健推進員等 | 毎月10,000部発行 | 12回 | 歯科保健指導用パネル | 目的:口腔の健康は全身、及び対象者の生活の質にもかかわってくることを知識と意識の向上を図る。/内容:「食育と歯科保健」、新シリーズの制作予定 シリーズA全判 | 都道府県・政令市・市区町村等の母子歯科保健担当者、各県歯科医師会関係 | 希望数全て | 随時 |
| | ホームページ運営管理 | 目的:全国の保健師、母子保健推進員等の情報の共有を図る/内容:本会議ホームページの全面リニューアル、ホームページ上に質問箱を設置、回答を公開、「母推さん」バックナンバーを公開 http://www.bosui.or.jp | 保健師、自治体保健担当者、母子保健推進員等 | | 随時更新、機関紙-母推さんバックナンバー月1回更新 | 「8020の里賞」の表彰 | 目的:母子歯科保健知識の普及・啓発、地域母子保健福祉事業の推進を図る/内容:審査会を開き受賞団体を決定、表彰を行う | 県・市町村協議会、親子の健康づくりのために活動する地域組織 | 優秀賞:3団体、佳作賞:若干、奨励賞:若干 | 1回 |
| | ポスター、リーフレット「ママ、パパ、タバコすわないでータバコは早産・低出生体重児の誘因になります」 | 目的:妊婦の喫煙が早産、低出生体重時の出産に誘引すること、副流煙による子どもへの弊害を広く知らしめる/内容:ポスター、リーフレットを制作し、妊婦及び重要時を持つ親に対して、喫煙が胎児に与える影響、受動喫煙の弊害について、SIDS予防コーナーを設けた。 | 妊婦及び乳幼児を持つ親 | ポスター20,000枚、リーフレット10,000部制作・頒布 | ポスター1回、リーフレット随時 | ポスター、リーフレット「ママ、パパ、タバコすわないでータバコは早産・低出生体重児の誘因になります」 | 目的:妊婦の喫煙による弊害を広く知らしめる/内容:妊婦の喫煙、副流煙の特に乳幼児への危険性を知らしめるポスターを制作、配布。機関紙「母推さん」(後述)で特集記事を掲載/B2版 カラー | 市区町村母子保健担当者、妊婦及び乳幼児を持つ親 | ポスター:10,000枚/機関紙「母推さん」:10,000部 | 1回 |

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

| 団体名 | 平成23年度の取組実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|----------|---------------------------------|--|------------------------------------|---|-------------------------------------|------------------------------------|--|------------------------------------|-------------|-------------------------------|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| 母子保健推進会議 | 「早寝早起き朝ごはん運動」の促進 | 目的:乳幼児・児童の規則正しい生活「早寝早起き朝ごはん」がもたらす好影響についての周知とシンボルマークの普及による運動へのさらなる周知を目指す/内容:パンフレット・リーフレットの制作、研修会テーマで取り上げる等 | 乳幼児・児童を持つ親 | パンフレット2,000枚制作 研修会対象者 | 随時 | 地域母子保健福祉情報紙「母推さん」の発行 | 目的:地域母子保健福祉事業の推進、母子保健推進員等の資質の向上と組織の育成を図る/内容:厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など | 都道府県・保健所・市町村母子保健担当者・母子保健推進員等 | 月10,000部 発行 | 12回(毎月1回15日発行) |
| | 「健やか生活習慣国民運動」の促進 | 目的:食育、むし歯予防、生活リズム、の大切さを広く知らしめる/内容:研修会のテーマ、教材作りにかかす等 | 乳幼児期からの親 | パンフレット制作、研修会対象者 | 随時 | ホームページ運営管理 | 目的:調査報告、情報の共有、保健活動に当たったの悩みや疑問の解消を図る/内容:情報の公開と共有、質問箱の設置、情報交換の場を設ける。本会議機関紙「母推さん」のバックナンバーを掲載 http://www.bosui.or.jp | 保健師、自治体保健担当、母子保健推進員等 | | 随時更新 機関紙「母推さん」バックナンバー月1回更新 |
| | 母子保健と国際協力 | 目的:日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員が日頃の活動を客観的に見つめ直し、意識の高揚につなげる。/内容:国際協力機構(JICA)などに協力し講義 | 母子保健推進員等、保健師 | 120名 | 8回 | 母子保健と国際協力 | 目的:日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員が日頃の活動を客観的に見つめ直し、意識の高揚につなげる。/内容:国際協力機構(JICA)などに協力し講義。 | 母子保健推進員等、保健師 | 120名 | 8回 |
| | 独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成 | 目的:「母子保健推進員等地域組織による子育て応援事業」の実施/内容:「市区町村における母子保健推進員等の果たす役割」調査、母子保健推進員等を対象とした研修会、及び現地調査の実施、「乳児家庭全戸訪問」用リーフレット『スマイル子育て』制作、報告書の制作など | 都道府県、指定都市、市区町村、関係機関母子保健担当者 | 研修会 1,297名、 リーフレット 20,000部、 報告書制作 | 研修会 7回、 現地調査7回、 リーフレット報告書配布1回 | 母子保健啓発教材の制作・頒布 | 目的:母子保健知識の普及、及び母子保健推進員活動の円滑な推進を図る/内容:母子保健知識の普及に必要な教材、及び乳幼児を持つ家庭への訪問時に必要な教材等を制作し頒布する | 都道府県、市区町村母子保健担当者 | 希望者 | 随時 |
| 日本小児歯科学会 | ワークショップ 「乳幼児健診活動」 | 関連職種がそれぞれの役割について情報交換をおこない、職種間連携の強化を図った。 | 医師、歯科医師、看護師、行政 | 70 | 1 | 小児歯科学会シンポジウム むし歯減少国における小児歯科医の役割 | むし歯が減少して今後の小児歯科医療のあり方を議論 | 歯科医師、歯科衛生士、その他 | 200 | 1 |
| | 講演会 「小児の事故防止に向けての工学的アプローチ」 | 事故防止についての工学的アプローチから見えてくる新たな視点を事故予防につなげるようにした。 | 歯科医師、歯科衛生士、行政 | 100 | 1 | 講演「歯の外傷と治療」 | 外傷予防の対策と啓発 | 歯科医師、歯科衛生士、その他 | 250 | 1 |
| | ホームページ 「乳幼児突然死症候群の対策強化月間の周知」 | 強化月間の周知と共に、予防法についての理解をもとめた。 | 歯科医師、歯科衛生士 | - | 1 | 専門医セミナー「外傷難症例臨床と課題」 | 外傷の予防 | 歯科医師、歯科衛生士、その他 | 250 | 1 |
| | 子ども健康週間への参加 | 講演会や健康相談などを通じての子育て支援 | 歯科医師、歯科衛生士 | 350 | 1 | 小児歯科学会改訂版「乳幼児の口と歯の健診ガイド」の発行 | 1歳6か月児、3歳児歯科健康診断の手引きとして活用 | 歯科医師、歯科衛生士、栄養士、保育士、養護教諭 | 歯科関係者全員 | |
| | | | | | | こどもの健康週間事業 | 講演会や健康相談などを通じての子育て支援 | 子育て中の親子 | | |
| 日本小児神経学会 | 医療的ケア研修セミナー | 重症児(者)の在宅地域生活支援のための「医療的ケア」、専門職が知っておくべき方法・技術、諸問題およびリスク管理についての研修。2011年11月13日、神戸市で開催。 | 医師・看護師・保健師・理学・作業療法士・言語聴覚士・教員・保育士など | 205 | 1 | 医療的ケア研修セミナー | 重症児(者)の在宅地域生活支援のための「医療的ケア」、専門職が知っておくべき方法・技術、諸問題およびリスク管理についての研修。2012年11月3日、仙台市で開催予定。 | 医師・看護師・保健師・理学・作業療法士・言語聴覚士・教員・保育士など | 250 | 1 |

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
— 小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備 —

| 団体名 | 平成23年度の取組実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|-----------------|---|---|------------------------------|--------------|-----|---------------------------|--|--|-----------------------|-------|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| 日本小児神経学会 | ワークショップ「障害児(者)を地域支援する「医療と福祉」の連携:障害者総合福祉法と医療保険・日本小児神経学会の具体的施策提言」 | 障害児(者)を地域支援する「医療と福祉」の連携の方策の検討を行う。2011年5月28日、横浜市で開催。 | 日本小児神経学会会員および一般参加者 | 100 | 1 | 夜間集会「医療的ケアの介護職等法制化以後の課題」 | 医療的ケアの障害者施設、養護学校、学校での現状を把握し、医療的ケアの介護職等法制化以後の課題の検討を行う。2012年5月19日、札幌市で開催。 | 日本小児神経学会会員および一般参加者 | 100 | 1 |
| 日本女医会 | 事故から乳幼児を守る | 事故死の現状と予防教育 | 家庭の保護者、保育士 | 200 | 3 | 家庭、保育園での事故予防 | 事故死予防のシート作成 | 保護者、保育士、養護教諭 | 200 | 3回 |
| 全国母子保健推進員等連絡協議会 | 平成23年度「健やか親子21全国大会(母子保健家計計画全国大会)」への後援 | 目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、ならびに地域母子保健事業の推進を図るための同大会に後援/内容:功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演「親だからできること」講師 尾木直樹(教育評論家)、音語り/あらしのよるに 親子遊び、シンポジウム:テーマ『安全で安心な妊娠、出産、子育てを目指して』等 | 保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等 | 800名 | 1回 | 平成24年度「健やか親子21全国大会」への後援 | 目的:健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る。内容:功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演、シンポジウム、活動展示等 | 保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等 | 1,500名 | 1回 |
| | 全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会 | 目的:母子保健推進員等地域組織活動を周知することにより、理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる/内容:厚生労働省による最近の母子保健の動向、震災から学ぶ母子保健の危機管理、母推活動への期待、市町村で行われている母子保健推進員活動の報告等 | 行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等 | 180名 | 1回 | 母子保健推進員等および母子保健関係者全国集会 | 目的:母子保健推進員等の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員等の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげる/内容:全国の母子保健推進員の活動報告、活動展示 | 厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等 | 400名 | 1回 |
| | 「母子保健推進員研修会」への後援 | 目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員等の資質の向上を図る/内容:虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、食育の推進、乳幼児の事故と予防対策、母子保健推進員の活動・役割、期待、地域での子育て支援をテーマに講演、活動報告等 | 母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等 | 3,770名 | 9回 | 「母子保健推進員研修会」への後援 | 目的:すこやか親子21国民運動の一層の推進を目指す、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員等の資質の向上を図る/内容:虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告 | 保健師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等 | 4,500名 | 14回 |
| | 「母子保健・健全育成住民会議」への後援 | 目的:住民が主体的に参加することにより、その地域における子育ての問題を洗い出し、情報の共有と連携を図る。/内容:地域における子育て支援、地域に根付いた子育ての実践、学校保健との連携、父親の子育て、より良い親子関係のための実践、テーマに講演、実践発表 | 母親・父親の代表、母子保健推進員、保育士等 | 350名 | 1回 | 「母子保健・健全育成住民会議」への後援 | 目的:住民が主体的に参加することにより、その地域における子育ての問題を洗い出し、情報の共有と連携を図る。/内容:地域における子育て支援、地域に根付いた子育ての実践、学校保健との連携、父親の子育て、より良い親子関係のための実践、テーマに講演、実践発表 | 母親・父親の代表、母子保健推進員、保育士等 | 350名 | 1回 |
| | 「健やか親子21国民運動—8020の里賞」への後援 | 目的:域組織の育成、乳幼児期からの口腔から全身の健康の啓発/内容:地域で劇、ペーパーサート、手作り教材制作など活発な啓発活動を実践している組織を表彰、活動内容を全国自治体宛紹介 | 地域で母子保健活動を行っている組織 | 30媒体、23団体の応募 | 1回 | 「健やか親子21国民運動—8020の里賞」への後援 | 目的:母子歯科保健知識の普及・啓発、地域母子保健福祉事業の推進を図る/内容:審査会を開き受賞団体を決定、表彰を行う | 県・市町村協議会、親子の健康づくりのために活動する地域組織 | 優秀賞:3団体、佳作賞:若干、奨励賞:若干 | 1回 |

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

| 団体名 | 平成23年度の実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|-----------------|-------------------------|---|---|---------------------|------------|--|---|---|------------------------|----------------|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| 全国母子保健推進員等連絡協議会 | 地域母子保健福祉情報紙「母推さん」作成への協力 | 目的:地域母子保健の普及・母子保健推進員の資質の向上を図る/内容:厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実態の紹介、本会議主催研修会の報告など | 都道府県・保健所・市町村母子保健担当者・母子保健推進員等 | 毎月10,000部発行 | 12回 | 地域母子保健福祉情報紙「母推さん」作成への協力 | 目的:地域母子保健福祉事業の推進、母子保健推進員等の資質の向上と組織の育成を図る/内容:厚生労働省、専門職の員、地域母子保健活動の実態、活動している人の声など | 都道府県・保健所・市町村母子保健担当者・母子保健推進員等 | 月10,000部発行 | 12回(毎月1回15日発行) |
| 母子健康協会 | 小児医学研究助成 | 【趣旨】小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 【助成月日】平成23年11月1日 【研究期間】平成23年11月～平成24年10月 【対象課題】小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。 | 大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。 | 件数 8件 総額 1,179万円 | 毎年1回募集 | 小児医学研究助成 | 【趣旨】小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 【募集月日】平成24年5,6月 【対象課題】小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。 | 大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。 | 件数 10件前後 総額 1,300万円 | 毎年1回募集 |
| | 小児医学研究助成報告書の発行 | 【趣旨】助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ情報提供を行う。 「平成21年度第22回小児医学助成研究報告書」平成23年6月1日発刊部数 300部 | 全国の主要な大学・研究機関110カ所に贈呈 | 110機関 | 毎年1回発行 | 小児医学研究助成報告書の発行 | 【趣旨】助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ情報提供を行う。 「平成22年度第23回小児医学助成研究報告書」平成24年9月発刊部数 300部 | 全国の主要な大学、研究機関 | 110機関 | 毎年1回発行 |
| | シンポジウム「保育に必要な予防接種の知識」開催 | 【趣旨】保育園・幼稚園の先生への啓蒙として保育園・幼稚園の先生方を対象としたシンポジウムを開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」とホームページに収録し、広く情報提供する。 【開催日時】平成24年1月26日(木)14時～17時 【講師】前川 喜平(東京慈恵会医科大学名誉教授) 岡部 信彦(国立感染症研究所感染症情報センター長) 横井 茂夫(横井こどもクリニック院長) | 東京都、横浜市、川崎市の保育園・幼稚園の先生 | 受講者数 78名 | 年1回東京地区で開催 | シンポジウム「食物アレルギーのお子さん達が健やかに育つように……ガイドライン作成を機会に」を開催 | 【趣旨】保育園・幼稚園の先生への啓蒙として保育園・幼稚園の先生方を対象としたシンポジウムを開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」に収録し、広く情報提供する。 【開催日時】平成25年1月 *シンポジウムの詳細内容を機関誌・ホームページで紹介 | 東京都、横浜市、川崎市の保育園・幼稚園の先生 | 定員 160名 | 年1回東京地区で開催 |

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

| 団体名 | 平成23年度の実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|-------------------|------------------------|---|--------------------------------|------------------|--------|--------------------------------|--|--------------------------------|------------------|--------|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| 母子健康協会 | 機関誌「ふたば」発行 | 【趣旨】 保育園・幼稚園の先生方を対象した機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。 【発行月日】 平成23年12月29日 【発行部数】 30,400部 A5版 103ページ 【内容】 「子どもたちとおやつ」 「先天性免疫不全症について」 「保育園・幼稚園における感染症と対応」 | 全国の主要な保育園・幼稚園の先生 | 30,000ヶ所に贈呈 | 毎年1回発行 | 機関誌「ふたば」発行 | 【趣旨】 保育園・幼稚園の先生方を対象した機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。 【発行月日】平成24年11月 【発行部数】30,400部 【内容】A5版 80ページ *記事の全文をホームページで紹介 | 全国の主要な保育園・幼稚園の先生 | 30,000ヶ所に贈呈 | 毎年1回発行 |
| 日本SIDS・乳幼児突然死予防学会 | 第19回学術集会 | SIDS・乳幼児突然死症例の原因究明、学術的研究結果の共有 | 小児科医・法医・病理医・小児救急医・保育関係者・救急隊員など | 150 | 1 | 第19回学術集会 | SIDS・乳幼児突然死症例の原因究明、学術的研究結果の共有 | 小児科医・法医・病理医・小児救急医・保育関係者・救急隊員など | 150 | 1 |
| | | | | | | 症例検討委員会 | SIDS・乳幼児突然死症例の原因究明、学術的研究結果の共有 | 小児科医・法医・病理医・小児救急医 | 30 | 1 |
| 日本未熟児新生児学会 | 日本未熟児新生児学会学術集会 | 未熟児新生児医療の向上ならびに未熟児新生児学の研究を促し、会員相互および内外の関連機関との連絡を図ることを目的としている。 | 全会員 | 約3,000名 | 1 | 日本未熟児新生児学会学術集会 | 未熟児新生児医療の向上ならびに未熟児新生児学の研究を促し、会員相互および内外の関連機関との連絡を図ることを目的としている。 | 全会員 | 約3,000名 | 1 |
| | 教育セミナー | 新生児医療に携わる若手医師達の能力向上を図る。また中堅医師達の指導者としての役割を果たす能力をつける。 | | 講師約40名 参加者60名 | 1 | 教育セミナー | 新生児医療に携わる若手医師達の能力向上を図る。また中堅医師達の指導者としての役割を果たす能力をつける。 | | 講師約40名 参加者60名 | 1 |
| | AJフェロージャ | 若手新生児科医育成のため、学術集会・懇親会・実技セミナーの参加費用を免除とした。 | 卒後3～6年目の医師 | 22名が採用された | 1 | AJフェロージャ | 若手新生児科医育成のため、学術集会・懇親会・実技セミナーの参加費用を免除とした。 | 卒後3～6年目の医師 | | 1 |
| 児童育成協会 | 赤ちゃんと一緒に子育て学習会 | 赤ちゃんの健康、栄養、発達などを学ぶ講習会 | 3ヶ月～1歳6ヶ月の乳幼児と親 | 150 | 3 | 赤ちゃんと一緒に子育て学習会 | 赤ちゃんの健康、栄養、発達などを学ぶ講習会 | 3ヶ月～1歳6ヶ月の乳幼児と親 | 90 | 3 |
| 全国乳児福祉協議会 | 「乳児保育」「全乳協ニュース」などの広告媒体 | 乳幼児の事故防止についての広報啓発 | 全国の乳児院のほか関係機関や個人 | 2,000 | 12 | 「乳児保育」「全乳協ニュース」などの広告媒体 | 乳幼児の事故防止についての広報啓発 | 全国の乳児院のほか関係機関や個人 | 2,000人程度 | 10回程度 |
| 日本育療学会 | 第15回日本育療学会学術集会 | 大会テーマ「入院している子どもの教育支援のための教育と医療の連携」 | 会員及び一般参加者 | 167名 | 1 | 第16回日本育療学会学術集会 | テーマ「当事者の言葉を傾聴する」 | 会員及び一般参加者 | 100 | 1 |
| | 小規模研修会 | 【兵庫県神戸市】テーマ「東日本大震災、阪神・淡路大震災 2つの震災と病気や障害のある子どもたち」 【岡山県倉敷市】テーマ「病気と向き合いながら学習し続ける子どもへの支援」 | | | 2 | | | | | |
| 全国訪問看護事業協会 | 研修会「小児訪問看護研修会」 | 小児の疾患と病態生理、小児看護の基本的理解、訪問看護ステーションにおける小児訪問看護の実際 | 訪問看護ステーション看護師 | 106 | 1 | 研修会「小児訪問看護研修会」～こどもを支える訪問看護の実際～ | 小児の疾患と病態生理、小児看護の基本的理解、訪問看護ステーションにおける小児訪問看護の実際 | 訪問看護ステーション看護師 | 80 | 1 |

健やか親子21推進協議会・参加団体の取組実績と行動計画(課題3)
－小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備－

| 団体名 | 平成23年度の取組実績 | | | | | 平成24年度の行動計画 | | | | |
|----------|--|--|-----------------|-------|------|-------------------------------------|-----------------------|------|--------|-------|
| | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 対象者数 | 開催数 | 事業名 | 目的・内容 | 対象者 | 予定対象者数 | 開催予定数 |
| 日本小児外科学会 | 第49回日本小児外科学会学術集会 | 学会の中で「外傷治療における小児外科、女性外科医の望みと悩み、史上最強の小児救急医への道、小児外科医にも出来ること、しなければならぬこと」などについての話し合い | 約2300名の小児外科学会会員 | 約800名 | 毎年1回 | 市民公開講座 テーマ:子供を守ろう!～家の中には危険がいっぱい～ | 一般市民に子供の不慮の事故の現状を伝える。 | 一般市民 | 約100名 | 1回 |
| | 市民公開講座 テーマ:「あつ、あぶない!!!」 こどもの事故を防ぐために | 一般市民に子供の不慮の事故の現状を伝える | 一般市民 | 約100名 | 1回 | | | | | |